

出版界に一大朗報

富士山麓幽境に

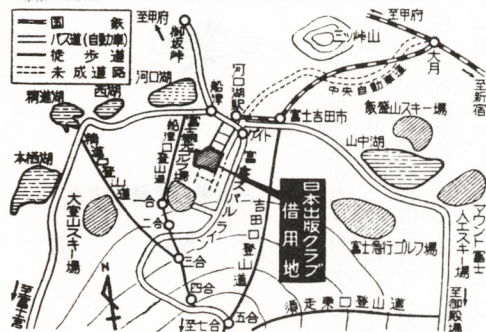
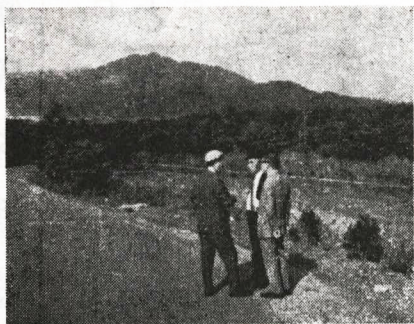
研修センター建設

富士山北麓、スバルライン・ゲート付近の広大な山梨県有地の一部を、出版界の研修、リクリエーションセンター用地として、この度日本出版クラブで借用することとなり、去る九月十五日の理事会で満場一致で決定した。

現地は、世界の秀峰「富士」の山麓にあり、樹間に富士を仰ぎ、前方に河口湖を望む風光明媚の地で、清澄な大気と雄大な自然に恵まれた絶好の自然環境にある。東京から自動車で三時間の距離で、標高は九〇〇米、夏季の平均気温二六度、七月の雨量二〇〇ミリ以下というドライでクールな気候でほぼ軽井沢と同様な快適な気候に恵まれている。

現在、すでに着工している中央自動車道が四十三年に完成すれば現地は河口湖にできるインターチェンジのすぐそばになるので、東京から自動車で一時間余足らずの距離となる。

「現地を視察する委員(右の林が現地)」



以前より業界内において借用の要望が高まっていたのであるが、此度山梨県出身の赤尾会長の尽力によって実現の運びをみるに至ったものである。

借用地は一万三千坪で、借用期



復刊 第 9 号

主な記事

- ▽出版界に研修・リクリエーション・センター誕生
- ▽河出孝雄氏を語る
- ▽善、悪、業と人格、社会、出版
- ▽感銘をうけた本
- ▽レジャーと読書
- ▽読書週間記念行事始まる

清水 勝二
塚本 哲四
会 員 諸 氏
下 条 泰 生
七

間は三十年間である。もちろん契約の更新は可能である。現在、理事会によって設置された小委員会が諸般の準備等にあたって推進し

みんなに喜ばれる施設を

——なお最初から土地入手の交渉にあたり、また現地の事情にもくわしい赤尾会長および現地を視察した小委員会の岩崎理事はこもこも次のように語った——

赤尾会長談

霊峰富士にふさわしい開発の一つのサンプルとしてこの研修、リクリエーション・センターを建設することになった。出版関係者交流の場として、みんなに喜ばれる施設をつくつていこうと考えている。できれば来年の夏には利用できるようにしたいものである。

岩崎理事談

現地引渡しに立合ったが、すでに現地の入口まで立派な道路が出来ており、富士山を間近かに仰ぐ想像通り素晴らしいところである。夏は涼しく、秋の紅葉は美しく、

ており、去る十月六日に現地で立合いの上、山梨県当局より土地の引渡しを完了した。

更に近く建築、土木関係者を現地に送り、早急に建設計画をたてることになったが、これにより出版界多年の夢であった研修、リクリエーション・センターが実現し出版界の発展と全従業員福祉増進に大きく貢献することが期待されている。

建設小委員会委員

諸般の準備を進めるため設けられた小委員会の委員は次の各氏であるが、今後更に必要に応じて増員されることになっている。

会長 赤尾好夫 副会長 野間省一
同 江草四郎 理事 岩崎徹太 同 小林直衛 同 下出源七 同 下中邦彦 同 田中剛三郎 同 山崎清一 監事 福岡益雄 同 朝倉敏三 出版健康常務理事 小玉邦雄 東版社長 池辺伝